



最終提出

(別紙2-4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	医療法人 城南会	代表者	山根 邦夫	法人・事業所の 特徴	デイ長田では、在宅生活が継続し送れる様、利用者の残存機能維持、向上に努め、自立支援を目指し、「手は出しすぎず、目を離さず」を方針で行ってます。利用者様が楽しんで、満足し利用できる様、一人一人に合わせた生活リズムを考慮し、利用者へサービスの提供を心がけています。
事業所名	デイ長田小規模多機能	管理者	比嘉 健		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	人	1人	1人	人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・困難事例についての検討会議を、その都度開催する。(不穏・入浴拒否)等。	・その都度会議を開き、対応を共有、改善に向け話し合い、次に活かせる様にしています。記録が不十分であり、今後は、議事録として残します。	・利用者さんの「なりたい自分」、について、支援者が言葉のキャッチボールを交わらせれば、利用者さんの気持ちに寄り添う事に繋がるのではないかと。	・日々、利用者さんとの会話を行う時、どのようになりたいか確認し、カンファレンス時、各職員から情報をまとめ、希望に沿った、(メニュー:運動・手作業・レク・生活リハビリなど)計画書を作成する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・施設1階駐車場に休憩所、意見箱を設置し、地域からの声を運営に反映行える様にする。パンフレットを自由に取れる様に、見えやすい位置に置く。	・1階に休憩所や意見箱、パンフレットを設置、パンフレットを持ち帰っている様子が見られる。現在、相談の連絡はない。	・バスが来る事が、見えやすい位置に腰掛を設置した方がいと思う。 ・見学した事がない為、入りにくいと分からない。	・利用者さんが満足して利用行える様、一人一人のプログラムを作成し、歌、レクリエーション、ドライブ、家事的作業、個別運動など提供する。
C. 事業所と地域のかかわり	・1階駐車スペースに休憩所を設け、利用されている方との交流を図る。施設を見学し利用者さんと過ごせる環境を整える。	・1階駐車スペースに椅子を設置し、バス待ちの方が利用している。ありがたいとの声も聴かれる。	・地域行事に参加されている。 ・民生員との繋がりが、良いと思う。 ・以前に比べ地域の方が、デイ長田の事を認識してきていると思う。	・デイ長田夏祭りを開催する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者さんの地域、関係ある方に対し継続して関わりを行って頂ける様な挨拶、声かけを行う。	・利用者さん近所の方から、利用者さんが休み時の、情報が得られるようになった。 ・利用者さんの住んでいる地域の情報がなく、行事に参加出来ない。	・事業所の地域行事に参加されていると思う。 ・利用者さんの地域行事参加は、なかなか参加が難しいと思う。	・地域の方が1階交流室の運動器具を使用できる様、看板を設置、気軽に利用できる様にする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・全職員が交代で、運営推進会議に複数回に分け参加行える様、調整を行う。	・今年度初回のみ職員のみでの開催となったが、2回3回4回と職員交代で参加が行えている。	・運営推進会議に参加できない時もあり、コロナが落ち着いたら参加したい。 ・地域の情報共有ができれば良いと思う。	・運営推進会議に参加した職員は、ミーティング時、全職員へ報告する。 参加者の意見を情報共有する。
F. 事業所の防災・災害対策	・各階に緊急連絡先、防災マニュアルを置き、対応が行える。	・防災マニュアルを作成し、職員間で話し合いを行う事ができた。各階に防災マニュアルを置き、閲覧できる様にしている。	・運営推進会議時、前もって訓練の情報を頂くと参加調整が出来ると思う。	・運営推進会議時、参加者も含め訓練を実施する。